

議案—1. 平成28年度 活動報告

1. はじめに

人口の減少、少子高齢化の進行、家族構成の変化そして人々の価値観の変化など私たちを取り巻く環境は激しく変貌し、地域の支え合い・助け合いは増々求められている。

こうした中で南小ネットワークは、

- ① 子どもや高齢者などの弱者の見守り・支え合いの活動（子ども支援部&安心訪問グループ）
- ② 地域の安全を守る仕組づくりの活動（安全部）
- ③ ネットワーク活動の円滑な推進のための活動（総務部）

をメインテーマとして取り上げ、合わせてこの活動が

- ⑤ 会員出身団体の活動へ寄与出来る活動

となることを目指した。

ネットワーク会員の多くは、日常的に様々なボランティア活動を行っています。本当に多忙の中、議論を重ね汗水流して課題解決のため努力しています。もっと余裕のある活動であるべきではないかと思えます。そのためには、活動の仕方の検討やボランティア参加者の拡大（全員参加）が必要と考えます。

2. 子ども支援部 活動報告

子ども支援部としては、昨年度同様全体的には計画に対応できたと感じています。ただ各委員一人ひとりを見ると提出予定表と実績に大きな差があるので、少し見直したい。

(1) 学校・PTA支援活動

運動会・バザー・マラソン等協力は出来たと感じるが、PTAとの連携による共同作業を行っていけばと思う。

(2) 防災・防犯支援活動

今年度は市原市の中央会場と云うことで、支援活動の方法が縮小され学童支援としての作業が少なかった。

(3) 安全生活見守り支援活動

学区内を桜台地区と椎の木台地区に二分して、各々で管理運営を行ってみました。結果として少ない人数ながら、見守り希望者・訪問員ともに良、子ども支援部として個人の参加者が少なかった。

(4) 歳末助け合い運動の実施

クリスマスコンサートの実施について、内容的には良かったが、部としてミス有。
やはり事前会議等必要と感じた。

3. 安全部 活動報告

- (1) 市原市「総合防災訓練」(東小学校会場)への参加
 - ①天羽田、深城、みどり、桜台、椎の木台各町会の役員さんと訓練に参加し、避難場所(南小)からバス、タクシーによる指定避難所への避難輸送訓練を体験した
- (2) 南小における防災・防犯関連行事への対応
 - ①引渡し訓練、マラソン校外練習および納会の見守り等に対応した
- (3) 各町会に適応した「安否確認シート」の整備、および従来の安否確認方法の見直し検討(一時避難場所集合方式→班別・全員確認方式など)
 - ①4町会の「安否確認シート」が整い(みどり町会は未了)シートを活用した訓練が行われた
 - ②桜台自治会にて玄関に無事を示すタオルを掲げる方法の訓練がスタートした
- (4) 南小学校「防災教室」の活用推進
 - ①引渡し訓練の日30名近くの父兄が見学に見えられた
 - ②展示レイアウトの一部変更を行い部屋の使い勝手を改善した
 - ③展示品の追加フォロー
最新の地震発生予測情報、手作りオイルランプ、折り紙カレートレー

4. 総務部 活動報告

- (1) 会員相互の連携・協働を深める
 - ①研修会、懇親会の開催；
1月17日(火)「東京臨海広域防災公園」(江東区有明3-8-35)にある
防災体験学習施設「そなエリア東京」を訪問、東京直下型地震への
対応について学習した。その後、懇親会を開催した。
参加者； 研修会 19名、懇親会 20名(インフルエンザで欠席多)
- (2) 地域情報を共有するために広報誌「みなみかぜ」の内容充実
第16号(2016 4月発行)、第17号(2016 7月発行)、
第18号(2016 10月発行)、第19号(2017 1月発行)
(注)印刷代低減のためモノカラー印刷を進めた。
- (3) 先生、保護者及び学校支援ボランティアとの交流を図る。
 - ①運動会参加、マラソン立会い、グラウンド草刈作業及びありがとう集会等の共同作業のなかで交流した。
- (4) 防災・防犯について学ぼう

- ①市総合避難所訓練（市原市、9月4日）、避難所運営の体験訓練（地区社協・ネットワーク共催、11月12日）や防災研修（1月17日、そなエリア東京）を行う。

5. 「安心生活見守り支援事業」活動報告 {安心訪問グループ}

事業展開を始めて1年半になる。安心訪問員による月1回以上の家庭訪問を実施してきた。

見守り希望者は、元気で活発な方からそうでなく無口で引きこもりがちの方まで多様である。安心訪問員は、それに応じた対応が必要であるが民生・児童委員さんや地域包括支援センターの指導を頂きながら活動してきた。

今、事業参加者が少ないが、地域の方々はこの小さな地道な活動を見て、“近所同士の見守り・支え合い”の必要性・重要性を必ず理解してくれ次の展開に繋がると考える。

(1) 事業参加者数

年月	2017年3月			2016年3月		
	計	椎の木台	桜台	計	椎の木台	桜台
希望者	24	17	7	21	15	6
訪問員	29	11	18	25	10	15
合計	53	28	25	46	25	21

(2) 安心訪問員会議

- ①16年10月以降、桜台と椎の木台で別々に開催することとした。

但し、年に1回以上は合同会議とする。

- ②合同会議（5/24, 7/26, 9/27, 11/22, 3/28 5回開催）

- ③桜台会議（1/24 1回開催）

- ④椎の木台会議（10/29, 12/3, 1/28 3回実施）

(3) フォローアップ研修 「認知症サポーター養成講座」 11月22日

(4) 初期研修（10/25 1回実施）

(5) 気付き

- ①たいいていの方は独居高齢者で話し相手を欲している。
②通院もあるが地域の食事会や同好会に参加し概してお元気である。
③大半の方は本活動に前向きで気持ちよく受け入れてもらえる。
④福祉医療情報キット（みまもりくん）は重宝がられている。
⑤見守り希望者であって、安心訪問員ができる方もあった。